反対の意味の慣用句プリント③

使う言葉を手がかりに、反対の慣用句を書こう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

反対の意味とは、同じことについて、向きが反対になっている意味のことです。

①問の枠の慣用句と反対の意味の慣用句を、その問の「つかうことば」をそのまま入れて、「反対の意味の慣用句を書こう」の右のわくの中に書きましょう。ひらがなで書いてもよいです。

②何についての反対かは、各問の「何についての反対？」に書いてあります。これを手がかりに、向きをぎゃくにした慣用句を考えましょう。

れい **腰が重い** ＝なかなか行動に取りかかろうとしない

何についての反対？ → すぐに動き出すかどうか

つかうことば **尻** → **尻が軽い** ＝さそわれるとすぐに動く

問1 **甲乙つけがたい** ＝どちらもすぐれていて、よしあしが決められない

何についての反対？ → ちがいがはっきりしているかどうか

つかうことば **一線**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

問2 **言葉を濁す** ＝はっきり言わないで、あいまいにごまかす

何についての反対？ → かくさずにはっきり話すかどうか

つかうことば **胸襟**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

問3 **顰蹙を買う** ＝したことで、まわりの人にいやがられたり、見くだされたりする

何についての反対？ → まわりからの見られ方がよくなるかどうか

つかうことば **面目**

反対の意味の慣用句を書こう ＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます